平成 19 年度 秋期 情報セキュリティアドミニストレータ試験 採点講評

午後 試験

問 1

問 1 では,最近のワークスタイル改革を題材に,情報セキュリティアドミニストレータとしての知識力,状況判断力を問う出題とした。全体として,正答率は高かった。

設問 3(1)では,問題文中に示したネット型 OS の機能を理解して,設定された状況における判断を適切に記述した解答は少なかった。問題文に明記してある事項との矛盾があったり,設定と異なる状況を答えたりした誤った解答が多かった。問題文をよく読み取ってほしい。

設問 3(2), 設問 4(1)は,正答率が低かった。設問では,情報セキュリティ対策ではないが,情報システムを導入する上で必要な洞察力を問うている。情報セキュリティ対策の知識だけではなく,一般的な情報処理技術についても理解しておいてほしい。

設問5では,問題文中で議論してきたワンストップ型情報システムを使って,Q社のセキュリティ上の課題を改善するための提案を求めている。経営に貢献する情報セキュリティアドミニストレータとして,適切な解答を期待したが,正答率は低かった。問題文全体を通して関連情報を集めれば,それほど難しい問題ではないので,全体を読み込んで解答してほしかった。

問 2

問2では,システムの統合とそのシステムのデータセンタへの外部委託における情報セキュリティを主題として出題した。全体として,正答率は高く,主題とした情報セキュリティについては理解できているようであった。

設問1では、(2)の正答率が低かった。監査は、対象業務から独立すべきことを知っていてほしい。

設問 2 は,正答率が低かった。職務の分掌は,情報セキュリティアドミニストレータの仕事に関連するテーマであるので,理解しておいてほしい。

設問 4 は,正答率が低かった。設問では,委託先企業の担当者がサーバ室で単独で特権権限を行使して,重要な情報を媒体で不正に持ち出す場合の物理的管理策について問うている。管理策について,実際の適用場面を想定して,理解を深めてほしい。

設問 5 は,問題の背景を読み取って解答するよう工夫したが,(3)と(4)の正答率が低かった。(4)では,業務委託を想定していない解答も少なからず見られた。業務委託における情報セキュリティの問題点を理解して解答してほしかった。